

平成 30 年 7 月豪雨にともなう支援について

平成 30 年 7 月豪雨により、被災された皆さまに、謹んでお見舞い申し上げますとともに、亡くなられた方々に衷心よりお悔やみ申し上げます。

マツダ株式会社は、災害発生以来、地元の企業として被災された方々と被災された地域の日も早い復旧・復興支援を最優先に、人材や物資の支援などを迅速に行っています。特に人材の支援については、ボランティア等の参加に活用できる休暇制度「ハートフル休暇」^{*1}を見直し、従業員に災害ボランティアへの自主的な参加を推奨しています。

今後も、地域の皆さまやお取引先さまなどと連携して行政や地域などによる支援活動を妨げることなく、地域の安全や交通状況などに配慮した操業・勤務を実施するとともに、早期の復旧・復興に貢献する取り組みを推進していきます。

【これまでに実施した主な支援活動】（2018年7月26日時点）

■人材の支援:

- 被災地域に医療支援^{*2}、現場作業支援^{*3}、事務作業支援^{*4}など、のべ 745 人^{*5}が支援活動に参加しました。

■物資の支援:

- 被災地域に、土のう袋(2,850 袋)、飲料水など(24,880L)、軍手・手袋(602 セット)、マスク(336 枚)、タオル(1,310 枚)、雑巾(346 枚)などをお送りしています。
- 被災地域のご要望にお応えし、社用車(7 台)を貸し出しています。
- 被災地域に、復旧活動用のトラック(10 台)を寄贈^{*6}します。

■施設の支援:

- 鯛尾トレーニングセンター(安芸郡坂町)を災害ボランティアの宿泊施設として開放^{*6}します。

■義援金:

- 合計で 1 億円(広島県 8,000 万円、日本赤十字社 2,000 万円)を寄付^{*7}しました。
- 本社ロビー(広島県安芸郡府中町)にて、たる募金を 7 月 26 日から実施しています。

以 上

<ご参考>

■工場操業:

「平成 30 年 7 月豪雨にともなう 7 月 23 日以降の工場操業について」(2018 年 7 月 18 日発表)
<http://www2.mazda.com/ja/publicity/release/2018/201807/180718a.pdf>

*1 休暇手当は 70%から 100%支給、適用日数は 10 日から無制限に見直し

*2 マツダ病院の医師・看護師・保健師などを実施(のべ 83 人)

*3 屋内外の土砂・がれきなどの搬出・清掃・片付けなどを実施(のべ 142 人)

*4 ボランティアセンターなど施設の業務サポート・希望される物資や支援等のヒアリングなど実施(のべ 8 人)

*5 災害ボランティアに伴うハートフル休暇取得者数(のべ 457 人)およびマツダ親和会による無給災害ボランティア(のべ 55 人)を含む

*6 2018 年 8 月初旬に実施予定

*7 2018 年 7 月 12 日発表(<http://www2.mazda.com/ja/publicity/release/2018/201807/180712a.pdf>)